

厚生労働省・埼玉県・さいたま市主催
第11回全国障害者芸術・文化祭埼玉大会 オープニング企画



ART BRUT JAPONAIS

THE MUSEUM OF MODERN ART, SAITAMA

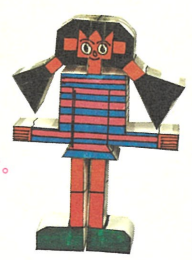
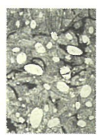
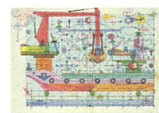
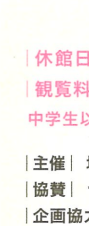
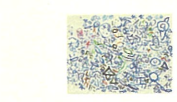
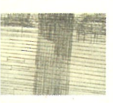
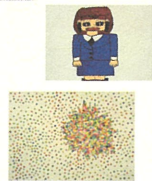
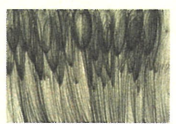
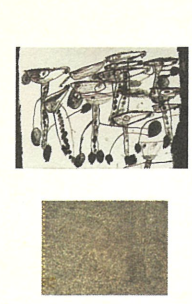
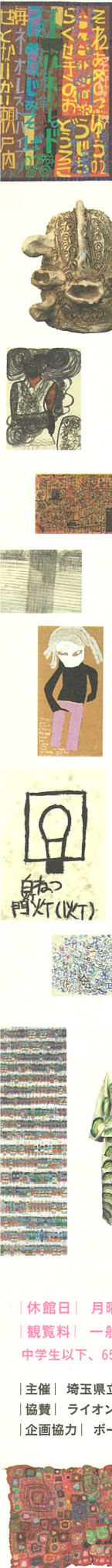
2011年4月9日(土) → 5月15日(日)

アール・ブリュット・ジャポネ 展

休館日 月曜日 | 閉館時間 10:00~17:30 (入場は閉館の30分前まで)
観覧料 一般 1000円(800円) / 大高生 800円(640円) ()内は団体20名以上の料金。
中学生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方(付き添いの方1名を含む)は無料です。併せてMOMASコレクション(IF常設展示室)もご覧いただけます。
主催 埼玉県立近代美術館 / 読売新聞社 / 美術館連絡協議会 | 特別協力 日本財団
協賛 ライオン / 清水建設 / 大日本印刷 / 損保ジャパン / 日本テレビ放送網 | 協力 JR 東日本大宮支社 / FM NACK5
企画協力 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA (滋賀県社会福祉事業団)

埼玉県立近代美術館

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 9-30-1 TEL : 048-824-0111 <http://www.momas.jp/>



出品作家

石井春樹	木本博俊	萩野トヨ
石野敬祐	久保田洋子	畑名祐孝
石野光輝	昆弘史	畑中亜未
泉巖	齋藤裕一	秦野良夫
伊藤峰尾	佐久田祐一	平岡伸太
伊藤喜彦	佐々木早苗	平瀬敏裕
岩崎司	澤田真一	平野信治
上里浩也	滋賀俊彦	藤野公一
上田志保	芝田貴子	戸來貴規
内山智昭	下田賢宗	松田僚馬
M.K	舛次崇	松本寛庸
大梶公子	城間盛栄	水谷伸郎
大久保寿	鯨万里絵	三橋精樹
小幡正雄	高橋和彦	宮間英次郎
鎌江一美	高橋重美	村田清司
蒲生卓也	田島征三	本岡秀則
狩俣明宏	辻勇二	八重樫道代
喜舎場盛也	土屋正彦	八島孝一
橋高博枝	富塚純光	山崎健一
木伏大助	西川智之	吉川秀昭
木村茜	西本政敏	吉澤健

パリから凱旋!

ART BRUT JAPONAIS

THE MUSEUM OF MODERN ART, SAITAMA

アール・ブリュット・ジャポネ展

自由なかたち・つくるよろこびいっぱいの作品たちに会える!



1. 岩崎司 《無題》 2. 芝田貴子 《お母さん》(部分) 3. 佐々木早苗 《無題》

◎キュレーターズ・トーク

「美術館とアール・ブリュットの現在」

4月29日(金・祝) 13:30 - 15:00 / 2F 講堂
定員 100名(先着順) / 無料

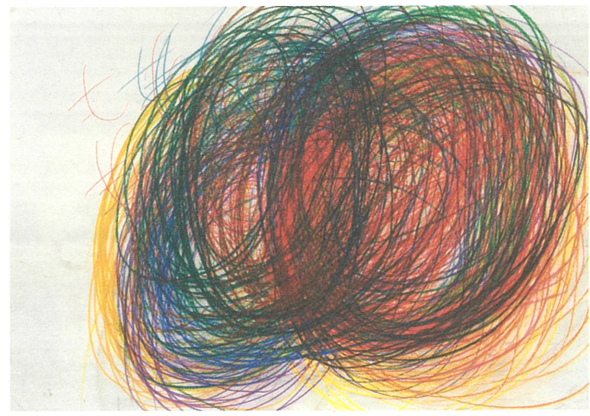
アール・ブリュットや現代美術に造詣の深い識者による座談会。
アール・ブリュットの魅力・課題・未来について語り尽くします。

小勝禮子(栃木県立美術館学芸課長) + 服部正(兵庫県立美術館学芸員) + 保坂健二郎(東京国立近代美術館研究員) + 建畠哲(当館顧問)(順不同)

◎上映会 ドキュメンタリー・フィルム

「日本のアール・ブリュット パリに上陸するの巻」(2011年,72分)

4月10日(日)・5月1日(日) / 2F 講堂
各回定員 100名(先着順) / 無料
各日とも2回上映 / 11:00・14:00に上映開始



4.

カラフルな色づかい、力強い描線、大胆な発想、そして文字や身の周りのものへのこだわり — 正規の美術教育を受けていないひとたちがつくりだすユニークなかたち。自由な着想とつくるよろこびから生まれた作品を前にすると、いつしか見るひとのこころの中にも楽しくのびやかな気持ちが生まれてくるのがわかります。「創造すること」「アート」の原点や楽しさがまさにここにあるのです。

さまざまな文化の違いを超えた純粋な創造 — 「アール・ブリュット(生の芸術)」は、フランスの芸術家ジャン・デュビュッフェがつくったことば。それは、既成の美術の枠組みにとられないアートを理解する考え方として生み出されました。現在、「アール・ブリュット」は従来の美術の観点や流通のシステムには取りまきらない優れた造形作品や創造性を包括する枠組みとなり、美術関係者、福祉関係者らを越えて広く社会的な関心を集めています。

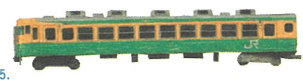
本展は、2010年春から2011年初頭までパリ市立アル・サン・ピエール美術館で開催された展覧会「アール・ブリュット・ジャポネ」の凱旋展。アウトサイダー・アートなどの紹介で定評のある同館で作品が公開されると、その力強い表現はパリ市民のあいだで大きな話題となりました。文化の違いを超えて芸術の都を魅了した、総勢63人の日本人作家による作品が里帰り。600点を超える作品がいよいよ国内でも公開です。

1. 岩崎司 《無題》制作年不詳 個人蔵 2. 芝田貴子 《お母さん》(部分) 1996~2001年 作家蔵 3. 佐々木早苗 《無題》 2007~08年 作家蔵 4. 齋藤裕一 《ドラえもん》2006年以降 作家蔵 5. 水谷伸郎 《電車》1999~2004年頃 個人蔵

◎ MOMASコレクション / IF 常設展示室

4月17日(日)まで 「ヌード」と「ネイキッド」- 裸体表現のスペクトル / 見えるものと見えないもの・2 - 現代彫刻の一断面 / 平野の詩人 - 森田恒友 / リサーチ・プログラム: ゴッガン版画
4月23日(土) - 7月10日(日) 近代の絵画と彫刻 / 山本容子の世界 | / 日本美術院の系譜 - 埼玉ゆかりの画家を中心に / 自然に学び、自然を刻む - 増田三男の金工

| 次回の企画展 | 彫刻家エル・アナツイのアフリカ 7月2日(土) - 8月28日(日)



〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 9-30-1 TEL: 048-824-0111 <http://www.momas.jp/>

◎ JR 京浜東北線北浦和駅西口から徒歩3分、北浦和公園内(東京方面からは大宮行きをご利用ください)。
◎ 当館には専用駐車場はありませんが、近くの市営駐車場(有料)、コインパーキングなどがご利用いただけます。団体バスは事前にご相談ください。心身に障害のある方、お体の不自由な方のご来館には、業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので予めご了承ください。

